

「議会だより」100号記念に寄せて

「よしおか 議会だより」は、本号で第100号の発行となりました。そこで、議長、広報委員長のほか、議長経験者のお二人に、議会だよりの思い出などをつづっていただきました。

100号発行に寄せて



田中 芳夫さん
(大久保寺上)

かえりみれば25年前、議会活動を皆さまにお

伝えし、まちの発展に役立てようと広報を発行することとなり、先進地に、研修に行きました。

当時は議会事務局が

では、全国各地から研修に訪れる議会が後を絶たないと聞いていま

作成しているところが大半でした。吉岡議会は、自分達で執筆しわかりやすく皆さまに伝えようと、試行錯誤を重ね発行したのを覚えていいます。

この間編集にかかわった方々のたゆまぬ努力のお陰で、全国コンクールにおいて14回も入賞を果たすなど大きく成長しました。今

では、全国各地から研修に訪れる議会が後を絶たないと聞いていま

す。誠に同慶の至りであり、深く感謝とお礼を申し上げます。

悪戦苦闘の日々



議長
近藤 保

報委員となり、4年間編集に携わりました。

記事の執筆はもちろんのこと、委員会での口角をとばす議論や、視察先での苦い経験など、悪戦苦闘の日々が思い出されます。委員会に所属したことを悔やんだこともありましたが、回を重ねるごとに納得のいく広報が

「よしおか議会だより」は、全国コンクールにおいて14回の受賞回数を数えます。初回は、第8号（平成2年8月10日発行）でした。

私も議員1期目で

て以来の「優秀賞」を受賞した時には充実感でいっぱいでした。

今では議長として編集に携わっておりますが、広報委員ともどもさらなる議会だよりの向上をめざし努力してまいりたいと考えます。今後ともご愛読のほどお願い申し上げますとともに、ご意見・ご要望などお聞かせいただけると幸いです。

来上がり、議会が始ま

議会だよりが始まった頃



大澤 勝さん
(南下)

大井健一議長(当時)から「議会だよりを出したらどうか!」との提案がありました。

議会事務局でも「出すのなら、いいものを作りましょう」と、いくつかのまちの「議会だより」を取り寄せて

いた頃で、協力の要請で何度も出向き、ようやく、地権者との信頼関係ができたところでした。

くれました。議員が自ら記事を集め編集するという編集方針を確認し、初めてのこの第1号(昭和63年11月)を出すには、かなりの回数の編集委員会を開きました。

当時、上毛大橋建設の用地取得のため、私は都市計画委員会副委員長という立場で、委員長の田中芳夫さんと地権者宅へお願いして

このことで他の町村の特色ある政策を知る機会ともなり、あわせて議会改革の必要性も認識する情報の窓口ともなっております。

町民との対話を求めて



広報委員長
石倉 寛

員自らの手で、町民に「議会のありのままの姿」を「わかりやすく伝える」という編集方針は、先輩議員から一貫して受け継がれたものであり、このことが町村議会広報全国コンクールで評価されている点だと理解しております。

吉岡町議会だよりは、昭和63年11月に創刊、今回で100号の記念すべき議会だよりを発行することとなりました。

発行当初より、議員が事務局と連携し、「議

近々、コンクール入賞をきっかけに多数の

今年、コンクール入賞をきっかけに多数の